

2014年10月14日

国内 No.1 3DCG ソフト。3D プリンター対応大幅強化。

## 『Shade 3D ver.15』発売のお知らせ



株式会社イーフロンティア（本社：東京都新宿区、代表取締役：安藤 健一）は、国産 3DCG 作成ソフトウェア Shade 3D シリーズの最新版『Shade 3D ver.15』シリーズを 2014 年 11 月 28 日（金）に発売いたします。



### 3DCG から、3D プリントまで。 3D 制作に幅広く対応する統合型 3D 作成ソフト。

Shade 3D ver.15 は、フォトリアルな 3D イメージやアニメーション、3D 立体視映像から、3D プリンター向けのモデルデータ作成まで幅広く対応した統合型 3D 作成ソフトです。

フィギュア、自動車のグラフィックなどのホビー用途、建築、インテリア、プロダクト、広告イラストなど業務用途に加え、3D プリンターでイメージを実際の造形にするための 3D モデル制作と多岐にわたりご活用いただいております。

### 3D プリントサービスはじめて応援クーポン

Shade 3D ver.15(ライセンス製品を除く) には、DMM.makeやOffice24Studioで、3Dプリントがお得になる「3Dプリントサービスはじめて応援クーポン」が同梱されています。本製品の「3Dプリントサービスはじめて応援クーポン」有効期限：2014/11/28-2016/11/30

**DMM.make**

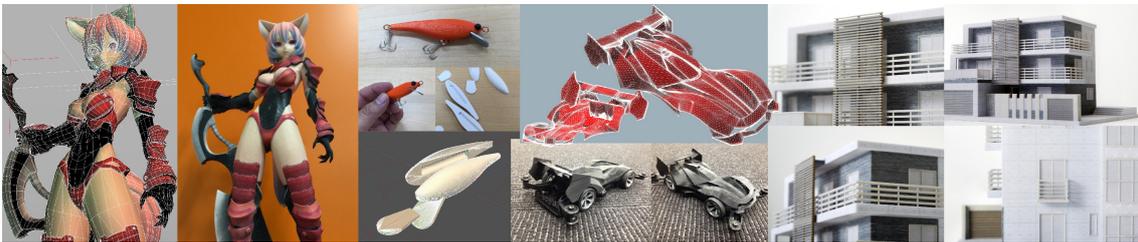
**Office24 Studio**  
3D PRINTING STUDIO

## 実際に使える、より多くの方が楽しめる 3D へ

3D プリンターでアクセサリや家具モデル制作。 ※3D モデル制作：id.arts (米谷 芳彦) ※3D プリント：DMM.make 他



趣味や実用、仕事も 3D 造形で。 ※3D モデル制作：IKEDA、has(sanzigen.com)、杉山 貴伸(ライフサイズ)  
※3D プリント：Office24Studio、サードウェーブテクノロジーズ



Shade 3D では、より多くの方に 3D 制作の楽しさを実感いただき、また 3D プリンターなどの 3D 造形制作が本当に活用されるようになるお手伝いとなるよう、より簡単な機能の開発、活用事例のご紹介、クリエイターの方々のご支援を行っていきます。

ここでは、3D 制作、3D プリントモデルデータづくりの敷居を下げるプログラムの新機能をご紹介します。

## 3D プリントアシスタントの大幅強化。

3D プリントに適した 3D モデルを作成するための「3D プリントアシスタント」が大幅に強化されました。難解な 3D プリント用の 3D モデル制作を、はじめての方でも自然に手順が分かるようにナビゲート機能の追加や、アイコン、インターフェイスデザインの調整に力を入れました。

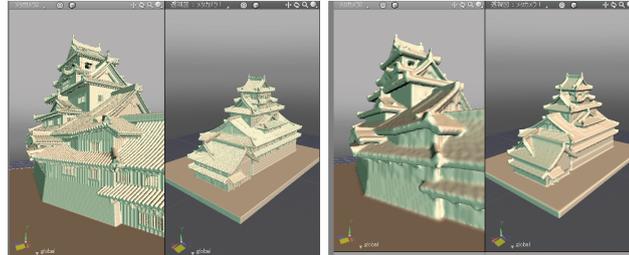


また、「自動修正」を強化するためのモデリング新機能が組み込まれており、3D プリンターが処理できない部分の検出から修正までをよりスムーズにとり行えるようになりました。

## ラッピング機能の搭載。

3D プリントアシスタントに組み込まれる新しいモデリング機能に「ラッピング」があります。ラッピングでは、これまで大変な手作業で修正していたような難しい 3D プリントモデルエラーも自動で修正します。

ラッピングはプログラムが自動でポリゴンへの処理を行っていくため、これまでの「レンダリング」と同じようにメモリや CPU の演算能力が高ければ、高精細な結果を求めても演算時間を短縮できます。



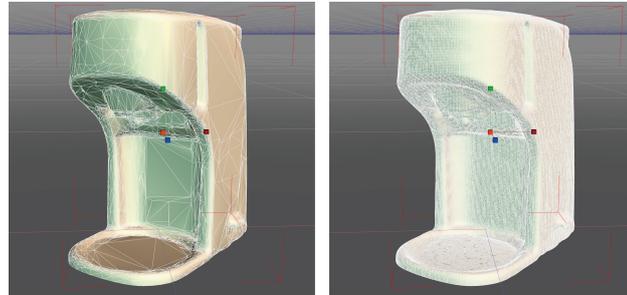
分割数 = 1024

分割数 = 256

## ポリゴンリダクション & ポリゴンスムージング。

3D スキャナーとも相性が良いモデリング機能、ポリゴンリダクションを搭載。

緻密すぎて扱いづらいポリゴンモデルを、外形をなるべく保持したままポリゴン数を減らし粗いモデルに変換していくポリゴンリダクション機能が、ポリゴンスムージング機能と合わせて搭載されポリゴン数と精度のコントロールが容易になりました。



POLYGON=10%

POLYGON=100%

## 3D 制作をバックアップする、その他の新機能

### Dropbox 連動。クラウドで 3D データ管理。

Shade 3D データをリスト化して管理できるカタログ機能、ShadeExplorer が Dropbox と連動しました。自宅、職場、学校など、異なる場所でもスムーズに制作を継続でき、ライフスタイルに合わせた効率的な 3D 制作が可能になりました。



## 4K モニタへの対応。

ユーザーインターフェイスが 4K モニタに対応し、4K の高精細な画面上でも適切なスケールでツール類が表示され、高解像度を活かした制作作業が可能になりました。これにより、小さくなりすぎる、または低解像度表示になってしまう不便を解消する他、パラメーターの操作も 4K の恩恵をしっかりと活かした精細なコントロールができるようになります。

また、インターフェイスの 4K 対応に合わせ、Basic、Standard のレンダリング可能サイズも拡張。Basic は 2K を確実にカバーする 2,500×2,500 ピクセルへ。Standard は 4K をカバーする 4,500×4,500 ピクセルまでのレンダリングが可能になりました。

## レンダリング速度の向上。

今回のバージョンアップではレンダリング演算を見直し、レンダリング速度を5%~10%引き上げる事に成功しました。これは、CPUを上位のものに積み替えるのと同効果があります。



## Windows でも。Mac OS X でも。

Shade 3Dはクロスプラットフォーム制を採用しており、全グレードでWindows/Mac OS Xのどちらでもご利用いただけるハイブリッド版でのご提供になります。

コンピュータの買い替えなどで利用環境の変化などにも安心してご導入いただけます。

### 動作環境

	Windows	Mac OS X
OS	Windows 7/8/8.1 (32ビット/64ビット)	Mac OS X 10.8 / 10.9 / 10.10 (64ビットのみ)
CPU	32ビット: Intel® Core™ 2 Duo, AMD Athlon II 以降 ※SSE2 搭載 必須 64ビット: Intel® Core™ 2 Duo, AMD Athlon 64 X2 以降 ※SSE3 搭載必須	Intel® Core™ 2 Duo 以降
メモリ	32ビット: 2GB 以上 (4GB 以上を推奨) 64ビット: 4GB 以上 (8GB 以上を推奨)	4GB 以上 (8GB 以上を推奨)
HDD	5GB 以上の空き領域	5GB 以上の空き領域
モニタ	1024x768 ピクセル以上を必須 (1280x1024 ピクセル以上を推奨)、24ビットカラー以上必須	1024x768 ピクセル以上を必須 (1280x1024 ピクセル以上を推奨)、24ビットカラー以上必須 対応モデル Mac mini Early 2009 以降, iMac Mid 2007 以降, MacBook Air Late 2010 以降, MacBook Aluminum/ MacBook Pro Late 2008 以降, Mac Pro Early 2008 以降
ビデオカード	NVIDIA® GeForce® 9xxx, GT, GTX 以上、NVIDIA® Quadro® FX 以上、AMD Radeon™ HD 5000 シリーズ 以上、Intel® HD Graphics 2nd Generation 以上、(VRAM256MB 以上必須/512MB 以上を推奨)	NVIDIA® GeForce® シリーズ 以上、AMD Radeon™ HD シリーズ 以上、Intel® HD Graphics 3000 シリーズ 以上、(VRAM256MB 以上必須/512MB 以上を推奨)
立体視モニタ	NVIDIA® 3D Vision™, 偏光方式 3D モニタ	偏光方式 3D モニタ
その他	DVD-ROM ドライブ(ダウンロード形式のプログラム提供もあり)、インターネットに接続できる環境	

## パッケージ製品ラインナップ

商品名	JAN コード	製品型番	税抜標準価格
Shade 3D Basic ver.15	4528992098158	EFSFB0H111	9,800
Shade 3D Basic ver.15 ガイドブック付	4528992098165	EFSFB0H121	11,800
Shade 3D Standard ver.15	4528992098219	EFSFS0H111	40,000
Shade 3D Standard ver.15 アカデミック	4528992098226	EFSFS0H311	20,000
Shade 3D Professional ver.15	4528992098189	EFSFP0H111	80,000
Shade 3D Professional ver.15 アカデミック	4528992098196	EFSFP0H311	40,000

### ■関連リンク

Shade 3D ver.15 製品情報ページ

<http://shade3d.jp/product/v15/>

Shade 3D 公式 web サイト

<http://shade3d.jp/>

Shade 3D ver.15 プレスご関係者向け資料ページ

<http://shade3d.jp/press/sh15.html>

Shade 3D ver.15 ビデオ：3D プリントに挑戦する編

<http://shade3d.jp/product/v15/videos/3d-printer.html>

Shade 3D ver.15 ビデオ：3DCG を追求する編

<http://shade3d.jp/product/v15/videos/3d cg.html>

### <掲載用連絡先>

株式会社イーフロンティア

TEL： 03-5206-1126

<http://www.e-frontier.co.jp/>

### <プレスからのお問い合わせ>

株式会社イーフロンティア

〒162-0806 東京都新宿区榎町43-1 神楽坂ビル

広報担当： 橋本 広報用メール： [pr@e-frontier.co.jp](mailto:pr@e-frontier.co.jp)

記載されている製品名・会社名・サービス名・ロゴは、各社の登録商標または商標です。